

第1回 カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画作成ワーキンググループ
(茨城港・鹿島港共催)

議事概要

会議概要

日時：令和3年8月3日(火) 16:00~17:00

会場：Web 会議

議事内容

○事務局から資料に沿って説明

- ・令和3年6月に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が具体化され、カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画を策定した港湾が20港以上となることを目指す旨記載。
- ・今年度、国土交通省では、先行する6地域7港湾のCNP形成に向けた支援をするとともに、CNP形成計画の策定マニュアルをとりまとめる予定。
- ・茨城県港湾管理者が作成するCNP形成計画について、先行事例のノウハウを持った関東地方整備局が支援することにより、早期の形成計画原案の作成、脱炭素社会の実現を目指す。
- ・茨城港・鹿島港におけるCO₂排出量の推計や、水素・燃料アンモニアの需要推計について、次回に説明できるよう、事務局にて作業を進める。

○各企業における脱炭素化に向けた取組について紹介

- ・生産・輸送・部品調達のバリューチェーン全体でのCO₂削減、工場・事業所において再生可能エネルギー・蓄電池の共有化による共通プラットフォームでのオペレーションや水素活用を今後検討予定。
- ・工場の自動化等の生産・物流のバリューチェーン全体でのCO₂削減、製品化している電動駆動の他に水素を活用した駆動方式の開発、建設機械の稼働効率向上によるCO₂削減、再生可能エネルギーの活用等を検討中。
- ・工場稼働の燃料転換、水素燃料・メタン燃料等の活用等を検討。水素・メタン等のクリーン燃料供給のサプライチェーンに期待。

以上